

令和元年度 事業報告

一般社団法人草薙カルテッド

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

一般社団法人草薙カルテッド

草薙カルテッドでは、まちづくりを持続的・一体的・効果的にマネジメントし、住民・事業者・来街者等に価値ある都市サービスを提供することを目的として、29年2月より事業を開始しております。

活動方針としては、草薙駅周辺まちづくりビジョンでも掲げられている「次代につながる選ばれる街」を実現する事を組織の活動方針の軸に「①草薙での暮らしを豊かにする」、「②文教などの資源を活かす」、「③魅力的な価値ある空間にする」という3つの方針を掲げております。

令和元年における事業内容としては、大きく「安全安心・住み良さ事業」、「文化・教育事業」、「駅周辺の賑わい事業」の3つの事業を、それぞれのプロジェクトチームに分かれて取り組みを展開しました。

1. 事業構成

(1) 草薙カルテッド会議

①草薙カルテッド会議

草薙カルテッドの事業計画や、取組み事業の検討を行うために、毎月最終月曜日の夕方に開催した。

②拡大理事会

草薙カルテッドの事業計画や、取組み事業の検討を行うために、毎月二回、事業部長、理事、事務局、行政担当者、商店会担当者参加の拡大理事会を実施した。



(2) 駅周辺の賑わい事業

①駅周辺における賑わい創出イベント事業

草薙駅周辺の賑わい創出を目的として、周辺事業者・商店会等と連携し、「夏フェス・冬フェス」といったイベント（年2回）の実施支援（つながるくさなぎ実行委員会主催、草薙カルテッド共催）。また周辺の商店会等と連携し、イルミネーションや各種イベントなどの連携・支援なども実施した。



②JR 草薙駅南口イベント広場オープニングセレモニー

草薙駅前南口イベント広場の完成を記念しオープニングセレモニーを実施。草薙カルテッドの都市利便増進協定の認定式に田辺市長にご出席して頂きました。また式典後半では「第3回イドバタ会議」と題し、イベント広場で“何ができるか”、“何をやりたいか”というテーマに沿って地元の小学生や中学生・高校生や大学生や地域の方々と一緒に意見交換会を実施しました。



③にぎわい創出社会実験

南口イベント広場が誰にでも使える場所であることをPRする目的で、草薙まちづくりインターンシップの研修生の皆さんと共に、パンとコーヒーが楽しめるオープンカフェの設営や子供の絵本を揃えた出張書店コーナー、ストリートピアノを設置して地域住民の方々が集い・くつろげる空間創出を行いました。





④JR 草薙駅北口芝生広場オープニングイベント開催

JR 草薙駅北口芝生広場のオープンを記念し、「スタートアップ草薙”新たな一歩を支える駅前広場”」と題して草薙商店会の飲食店の協力のもと、チケット制のビアガーデンスタイルのイベントを開催。芝生広場で色々な人が「やりたいことをやれる場所」になることを目指し、飲食ブース、草薙に関わる方々からのプレゼンテーション、テレゴング方式での双方向性アンケート企画、映像放映などを実施した。



⑤ JR 草薙駅南口メインストリート賑わいミニ社会実験

平成 29 年に策定した「草薙商店街まちづくりプロジェクト」の実現に向け、JR 草薙駅南口メインストリートの歩道空間を活用した賑わいミニ社会実験を実施した。歩道空間や花壇スペースへのベンチ設置や、店先への照明設置を行い、人々が滞留でき、夜間も安心感のある空間づくりを行った。



草薙のまちを好きになる！行きたくなる！

JR草薙駅大・美術館口（南口） メインストリート『賑わいミニ社会実験』の開催

【開催期間】2019年10月27日(日)～12月下旬(予定)

草薙カルテッドと草薙商店会は、2017年に「草薙商店街まちづくりプロジェクト」を策定し、南口のメインストリートを「地域住民や地元学生など訪れる人の居場所」として、人々が交流・滞在できる“おもてなし空間”を演出することを話し合いました。

そしてこの度、その実現に向けた取組みの第一歩として、公共空間を活用した“おもてなしの空間づくり（賑わいミニ社会実験）”を実施します。

公共空間を活用した“おもてなし空間”の演出

草薙のまちなかに、“地域住民や地元学生など訪れる人の居場所”として、誰でも気軽に利用でき、思い・くつろぐことができる空間を演出します。ご興味のある方は、是非一度、お立ち寄りください。

【演出①】“おもてなし”休憩スペース

メインストリートの歩道空間や花壇スペースを活用し、誰もが気軽に立ち寄れる「休憩空間」を演出します。




【演出②】“にぎわい”商業スペース

メインストリートの歩道空間や花壇スペースを活用し、公共空間で稼げる「商業空間」を演出します。




【演出③】“にぎわい”店先空間

メインストリートの商店に照明やベンチを配置し、夜間でも賑わいや安心を感じる「店先空間」を演出します。




■開催場所



■問い合わせ先

『賑わいミニ社会実験』について、皆様からの貴重なご意見を伺えたくございます。また、「私も参加したい!」など、ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

一般社団法人 草薙カルテッド(054-348-8618)

静岡市 清水駅周辺整備課(054-354-2018)



【主催】一般社団法人 草薙カルテッド、草薙商店会、JR 草薙駅南口 印 研究会（事務局：静岡市 清水駅周辺整備課）

【協力】工学院大学（運営数授）、東京都市大学、ぼんぼり光環境計画科（顧問：青龍氏）、昭和糖

(3) 文化・教育事業

①草薙謎解き WALK～くさなぎ街歩き～

謎解きをしながら草薙の街歩きを実施した。第 3 回目となる今回は、草薙の街中にある古木をめぐる企画とした。親子を中心に 17 チーム 50 名が参加し、企画を通して草薙の自然・文化を知ってもらおう機会となった。



②Hello くさなぎ等情報発信活動事業

平成30年度に引き続き、令和元年度においても草薙駅周辺エリアのまちづくり情報や、地域の商店・イベント情報などを「Hello くさなぎ No.5」として有度地区連合自治会と連携し発行した。

発行対象： 有度地区全戸配布



(4) 安心安全・住み良さ事業

①南口GD研究会との連携（移動円滑化支援事業）

昨年度に引き続き、若者や高齢者等地域の交通弱者など、誰もが快適に移動できる交通環境づくりのために、バス等の移動手手段の確保に向けて南口GD研究会に参加し、情報共有を図る。

②南口GD研究会との連携（安心安全な環境づくり）

「明かり」に関して3年目となる今年度は、販わい事業部と連携して南口メインストリートの照明実験を実施。帰宅する女性や子ども達の安全性を確保しつつ、通りにテーブル・椅子やベンチを設置して安心して滞留できる空間創りを実施。南口地区の特性にあった照明環境のコンセプトづくりやコンセプトに即した社会実験を、南口GD研究会と連携し実施した。

③住民の暮らしを守る環境づくり（防犯自動販売機の設置）

ダイードリンコ株式会社、ふじのくに未来財団の協働により地域防犯支援自販機が誕生しました。お披露目式には、静岡県警・清水署、静岡市の担当者をはじめ、草薙駅周辺まちづくり検討会議メンバー、地域関係者のみなさま約30名が参加し、早速自販機で飲み物を購入し、安心安全なまちづくりのシンボル誕生を祝いました。



(5) まちづくり活動普及啓発活動

① 草薙まちづくり普及啓発事業（サレジオ小学校 まちづくり講話の開催）

本年度も継続して地域の小学校の子供たちに草薙カルテッドの啓蒙活動を実施「草薙の移り変わりについて」講話を開催し、このまちに対する愛着を高め、幅広い視点での学習を行う機会を提供した。

(6) まちづくりの情報共有の場提供活動

① 草薙駅周辺まちづくり検討会議開催支援

平成25年度に設立された、産学官民連携組織「草薙駅まちづくり検討会議」について、事務局の運営を行い、草薙地域のまちづくりに関する情報の収集、整理及び提供を実施した。

② 大府商工会議所視察

大府商工会議所の皆さまがエリアマネジメント事業の研修ということで静岡市を訪問されました。草薙の公民連携の事業について、清水駅周辺整備課の担当メンバーの皆さんと、これまでの経緯や草薙カルテッドの機能や実施してきた内容について説明させて頂きました。

(7) その他まちづくり活動との連携

草薙東西自治会盆踊り、草薙龍勢、有度まつり、有度ハロウィン、交流館まつりなどのイベントに、積極的に参加、人的支援を行い、地域イベントと連携を図った。また本年度は、静岡市の若手職員の研修会に参加させて頂いたり、UDC（アーバンデザインセンター）総会や、日本都市計画家協会まちづくりカレッジへ出席することで関係者との交流を深める事ができました。